

# 人事からはじめる 病院の働き方改革



シェアNo.1のクラウド人事労務ソフト

 **SmartHR**

# SmartHR とは？



人事労務領域における、煩雑な紙の手続きや、紙での管理を簡素化。

職員全員が医療現場に集中できる環境づくりを目指す、

人事労務クラウドシステムです。

費用・時間のコスト削減だけではなく、情報管理のリスクの低減、

働きやすい環境の提供にも繋がります。

医療従事者の皆さんの有限な時間の希少性が年々、

非常に高くなっている昨今だからこそ、

システム化を検討する病院が増えてきています。



\*デロイトトーマツ経済研究所「HRTechクラウド市場の実態と展望2018～2020年度」

## 1 入職手続きなどの行政手続きも、 スマホ1つでカンタン申請！

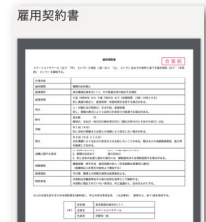
必要情報のみアンケートでサクッと提出！マイナンバーの提出も安全に、簡単に。資格情報の提出にも！



## 2 契約手続きもハンコいらず。 契約書一括作成で管理者もラクラク！

契約書作成～管理まで一気通貫で処理が可能！  
同意がいない通知書類も、本人に直接送付できます。

押印  
いりません！



## 3 年末調整の回答や、 給与明細もWEBで確認！

明細は支給日にスマホに通知が届くので、手渡しで受け取る必要が不要に。専門用語なしのアンケート年末調整で、回答もラクラク！時間がかからない！

質問に  
答えるだけ！



一目でわかる  
ステータス管理



## 4 給与・賞与明細、源泉徴収票も ペーパーレス化

給与・賞与明細、源泉徴収票をWeb上で配布できるので、ペーパーレス化はもちろん、保管期限は無期限なので、退職した従業員からの再発行依頼もペーパーレスに！



## 導入事例 | Case Study

### リスクは抱えず、システムに頼る。 総務から始まった働き方改革

病院名：医療法人社団 東山会 調布東山病院  
従業員数：596名(2020年11月時点)



#### 課題

給与明細の誤送信など  
個人情報漏洩  
リスクがある状態

#### 導入結果

リスク低減だけでなく、  
さらに、丸2日のコスト  
削減を実現

#### ―導入以前に感じていた課題やきっかけは何でしたか？

職員数の増加にともない総務にかかる負担が膨らんでいたことが課題でした。紙で給与明細を配布していたのですが、郵送対応も発生するため、誤送付のリスクを抱えておりました。煩雑な状況下での給与明細の給与に関するミスが発生すると、当該職員の法人への信頼感が著しく損なわれてしまうこともあり、Webへの切り替えは必然でした。

#### ―導入後の変化について教えてください。

まずは、当初の目的だった給与明細がWeb化されたことにより、印刷や封入、部署ごとの並び替えといった業務が効率化され、毎月発生する丸2日分の工数が削減されました。住所変更などの手続きについても、「いつでもスマホで申請ができて便利」という喜びの声が届いています。

#### SmartHR ここがおすすめ

どの職員にとってもわかりやすく、操作しやすい

#### ―導入時に感じた、院内での課題があれば教えてください

人事に限らず、組織において何かを変える際は一定の負の感情が生まれるものだと考えますが、それは今回の取り組みでも同様でした。さらに病院は、管理業務に対するIT化が遅れています。電子化に際して、取り組みを理解してもらうのにやはり労力はかかりました。

#### ―そういった課題に対しては、どのように対処されていますか？

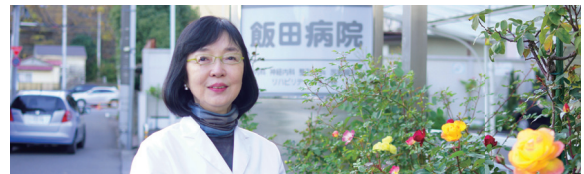
相互理解と対話に尽きるかと思います。最善の医療をお届けすることが職員のミッションでありますが、管理業務の効率化が結果として患者さんの医療水準につながることを職員に根気強く伝えて理解を得ています。工数削減できた結果、管理サイドから新たに業務改善の提案が増え、院内全体で好循環が生まれています。

#### SmartHR ここがおすすめ

社会保険や雇用保険の書類作成が電子申請で行えることが魅力

### 煩雑な紙の業務について“メス”を。 より良い病院作りへの好循環の起点に

病院名：医療法人社団 高砂会 飯田病院  
従業員数：100名(2019年12月時点)



#### 課題

システム化の理解を  
職員から得るのが  
難しい

#### 導入結果

管理業務の効率化が、  
医療水準に繋がり、病院  
全体で好循環が生まれた

## 介護業界でも利用されています！

### 年齢問わず「使いやすい」のが決め手。 介護 × 多拠点での業務改革

社名：あなぶきメディカルケア株式会社  
従業員数：782名(2021年1月時点)



#### 課題

多拠点をまたいだ  
紙でのアナログな  
業務が煩雑

#### 導入結果

ペーパーレス年末調整を  
実現。その他、年間で  
8000枚の紙削減

#### ― SmartHR を導入する背景について教えてください。

とにかく業務がアナログで、11エリア・33拠点も存在するので、業務の負担が非常に大きい状態でした。業務の属人化の脱却、事業拡大を見越した体制強化のためにデジタルへの移行を2年前に決断しました。

#### ― SmartHR を導入して生まれた変化を教えてください。

年間で約8,000枚もの紙を削減することができました。特に年末調整は、段ボールが2箱デスクに置いてあり、社労士の方も台車を利用するなどしていたのですが、「紙がない」という環境は想像以上に快適でした。従業員からも質問が届くかと思っていましたが、ほとんどありませんでした。

#### SmartHR ここがおすすめ

従業員780名と人事が直接つながれたことは、予測外のメリット

# SmartHR導入 Q&A

**Q** スマートフォンを持っていない職員がいる病院は、どのように運用していますか？

スマートフォンをお持ちでなくても運用可能です。個人のPCやタブレットを利用いただいたり、病院またはご家族の端末からログインしていただくことも可能です。※各病院のセキュリティ規定による  
また、メールアドレスをお持ちでない方も、社員番号でログインいただく設定が可能です。

**Q** 病院独自で保有する項目を設定することは可能ですか？

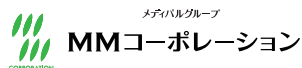
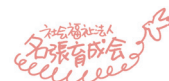
はい。様々な雇用形態に対応できるように、オリジナル項目を上限なく簡単に設定いただくことが可能です。(追加費用なし)例えば、資格情報、入社時の検診項目、手当関連、ユニフォームのサイズなども、ご登録いただけます。

**Q** 非常勤の職員も利用することはできますか？

はい。ご利用いただけます。「退職済み」アカウントは料金カウント対象外となりますが、退職後も、給与明細・源泉徴収票の閲覧にご利用いただけます。



## 病院に限らず関連業界でも利用されています



病院の働き方改革は Smart HR から  
<https://smathr.jp/>

